

# 避難について

気象情報などを確認し、万一浸水した場合に備えて、以下のような避難行動をとりましょう。

## 大雨が降ってきたら

### ■排水は控えて

大雨の時に大量の水を排水すると浸水の危険が高まります。



### ■外出は控えて

一人で外に出ることは控えましょう。道路が冠水しているとマンホールのふたや側溝のふたが外れていても気づきにくいので、どうしても外に出る場合は、足元に注意しましょう。



### ■浸水時に長靴は厳禁

長靴は水が入ると歩けなくなります。浸水の深さが大きい場合は、動きやすい服装で避難しましょう。



### ■川には近づかないで

避難時は、川や橋には絶対に近づかないでください。



### ■内水はん濫が起きたら

建物の2階以上など安全な場所へ一時的に避難しましょう。河川の堤防の決壊などによる洪水(外水はん濫)のおそれがある場合には、避難情報に従いましょう。



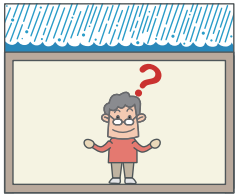
### ■アンダーパスには近づかないで

アンダーパスは立体交差等で道路が地下にもぐる場所です。周囲の水が集まり、冠水しやすいため危険です。自動車は立ち往生してしまいますので、絶対に近づかないでください。(大雨時のアンダーパスの写真はP.21 参照)

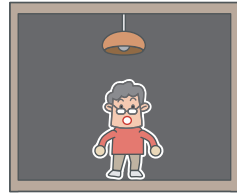


## 地下空間における浸水の危険性

半地下住宅や地下駐車場では、雨が降り始めたらすぐに上階へ避難しましょう



地下室では外の様子がわかりません。



浸水すると停電の恐れがあります。



地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます。



水圧でドアがひらきません。

## 雨の強さのチェック

**やや強い雨**

1時間雨量 10~20mm

ザーザーと降る

雨の音がよく聞こえ、地面に水たまりができる場所もあります。

**強い雨**

1時間雨量 20~30mm

どしゃ降り

傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。

**激しい雨**

1時間雨量 30~50mm

バケツをひっくり返したように降る

河川の水のあふれや、崖がずれがおこりやすくなります。

**非常に激しい雨**

1時間雨量 50~80mm

滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)

あたりが水しぶきで白っぽくなります。道路が冠水し、水害発生の危険性が高まります。

**猛烈な雨**

1時間雨量 80mm~

息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる

大規模な浸水が発生する恐れがあります。場合によっては河川のはん濫のおそれもあります。

注意報・警報の発表基準 (静岡地方気象台)

大雨注意報・洪水注意報

平地: 3時間雨量 70mm ※  
平地以外: 1時間雨量 70mm ※

記録的短時間大雨情報

1時間雨量 110mm 以上

※現在、注意報・警報の発表は雨量指数等を基準にしています。詳細は気象庁ホームページをご確認ください。記載の雨量は過去の資料から参考として載せています。

大雨警報(浸水害)・洪水警報

平地: 3時間雨量 110mm ※  
平地以外: 1時間雨量 100mm ※